

糸満市で考えたこと

網走市立第一中学校 一年
吉田 美里(よしだ みさと)



私は今回、友好都市の交流に参加し、沖縄県の糸満市を訪れました。

一日目は、空港から糸満市に入ると、真っ青な海と温かい風が私たちを迎えてくれました。糸満市は沖縄本島の最南端に位置する街です。今回の事業では、私たちの街だけでなく、同じく友好都市である神奈川県厚木市の中学生たちも参加していました。最初は初対面ということもあり少し緊張しましたが、三日間ホテルの部屋が一緒に、お互いの学校の話やご当地キャラクターについて話したり、平和について学んだり、沖縄の文化を体験したりするうちに、いつの間にか仲良くなることができました。住んでいる場所は全く違いますが、同じ中学生として意見を交換し、一緒に笑い合えたことはとても新鮮で楽しい経験でした。

二日目は、平和学習を行いました。糸満市は太平洋戦争でとても激しい戦場となった場所です。私たちは厚木の皆と一緒に「ひめゆりの塔」や平和記念資料館を訪問し、戦争について考えました。資料館には、私たちとそれほど年齢が変わらない女学生(ひめゆり)たちが、戦場の中で一生懸命に生きた記録や写真が展示されていました。命を落とした方々の名簿や遺品を目の前にしたとき、戦争の過酷さを感じ、胸が締め付けられる思いがしました。平和な現代で何不自由なく学校に通い、食べ物にも困らず、家族と笑い合えることがどれほど幸せなことか、本当の意味で理解することができました。

三日目は、美々ビーチへ行きました。海の色は、青く透き通っていて北海道では見られないサンゴや、貝がらがたくさん落ちていました。サバニ体験ではいくつかのチームに分かれて競いました。私のチームは、二回とも負けてしまいましたが、みんなでかけ声を合わせて漕ぐことがとても楽しかったです。その後のバナナボートは、水しぶきがかかって楽しかったです。最後に海で泳ぎました。私は今まで海で泳いだことがなかったので、海の中の砂の感触が新鮮でした。その後行った「琉球ガラス村」では、自分でガラスの器を作る体験をしました。難しかったことは、熱いガラスの器の口を広げることです。帰りは、「道の駅いとまん」へ行き、そこでは、新鮮な魚介類や沖縄料理もたくさん売っていました。そこで私は、海ぶどうを1つ買いました。家で食べたら、プチプチしておいしかったです。

最終日は、ウミカジテラスへ行きました。ここでしか見られないヤドカリやセミなどを発見しました。網走では考えられないほど暑かったですが、私は自然が大好きなので、休みながら観察に熱中しました。終わった後は、もう沖縄とはお別れかと思い、寂しい気持ちをこらえながら空港に行きました。

今回の訪問を通じて厚木市や糸満市の中学生と交流して地域の違いや共通点を知ることができたこと、平和学習を通じて戦争の残酷さを知って、今自分がどれだけ幸せなのか理解したこと、沖縄でしかできないことや見れないものをたくさん経験することができました。このすべてが、今後の自分に活かされると思います。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。